

令和6年度「総社市文学選奨」（一般の部）応募用紙

応募部門		作品名		
詩		①	②	③
短歌（新仮名遣い・旧仮名遣い）・俳句・川柳（○をしてください）				
小説	小説・戯曲・ラジオ等の脚本・随筆（○をしてください）			随筆は30枚以内
童話				枚

応募のきまり

《詩の部》3編すべてに作品名を記入してください。

《短歌の部》
《俳句の部》
《川柳の部》 } ...10首(句)を1作品とし、まとめたの作品名を記入してください。

《小説の部》...100枚以内。随筆は30枚以内。(A4サイズ400字詰たて書き)

《童話の部》...20枚以内。(A4サイズ400字詰たて書き)

※ 応募作品には必ず作品名(題名)をつけてください。

※ 原稿には部門及び作品名のみ記入し、氏名・住所等は記入しないでください。

※ 短歌の部の原稿には、新仮名遣い・旧仮名遣いの別を明記してください。

※ 1作品につき、1枚の応募用紙を使用してください。(コピー可)

※ 応募は1部門につき、1人1点とします。

※ 手書きの場合は、黒か青のペンではっきり書いてください。(鉛筆書き不可)

※ 優秀作品となった場合、報道機関から氏名等の掲載を依頼されることがあります。

ふりがな			ふりがな		
氏名			筆名	※筆名を使用している場合のみ記入。また、優秀作品となった場合、筆名が冊子に掲載されます	
住所	〒 —			学校名 又は 勤務先	※市外の方のみ記入
電話番号	() —	生 年 月 日	T S H	年 月 日	満年齢 性別
					歳 男・女

◆ 応募締切：令和6年10月13日（日） ◆

【当日消印有効】

令和6年度「総社市文学選奨」（一般の部） 作品募集要領

① 趣 旨	文学の創作活動を奨励し、豊かな地域文化の振興を図る				
② 主 催	総社市 ・ 総社市文化協会				
③ 募集部門 及び入賞	募 集 部 門		応 募 点 数	審 査 員	《 賞及び賞品等 》
	(1)	詩 (現代詩に限る)	3編で1点	〈 重 光 は る み 〉	【 賞 】 原則として、 ○入選者 1名 ○佳作者 若干名
	(2)	短 歌	10首(句)で1点	〈 能 見 謙 太 郎 〉	
	(3)	俳 句		〈 花 房 典 子 〉	
	(4)	川 柳		〈 遠 藤 哲 平 〉	
	(5)	小 説 (原稿用紙100枚以内)	1 編	〈 中 原 真 智 子 〉	【 賞 品 】 ○受賞者にのみ 賞状と賞品 ○受賞作品を 作品集に収録
		※戯曲並びに映画、ラジオ等の脚本、随筆を含む <u>随筆については30枚以内とします。</u>			
	(6)	童 話 (原稿用紙 20枚以内)	1 編	〈 矢 吹 由 子 〉	
④ 応募資格	・ 総社市に在住・在勤・在学の者				
	・ 年齢は問いません				
	※ 過去4年以内に同一部門で2回入選した(佳作は除く)者は、 <u>その部門への応募は不可</u>				
⑤ 用紙	(1) 詩, 短歌, 俳句, 川柳はA4サイズ 400字詰縦書原稿用紙が望ましい				
	(2) 小説, 童話は必ずA4サイズ 400字詰縦書原稿用紙を使用すること				
※ ワープロ原稿可。その場合原稿用紙でなくてもよい。ただし, A4サイズ20字×20行で, 縦書とする					
⑥ 応募規定	(1) 各部門とも未発表の創作作品に限る ※令和5年11月1日から令和6年10月31日までの同人誌等への 発表作品は <u>応募可</u> ※他の文学賞, 商業誌, 新聞等への同時の応募は <u>不可</u> (WEB上の投稿サイトも含む)				
	(2) 応募作品には題をつけること				
	(3) 応募用紙(裏面)に所定の事項を明記し, 作品に添付すること				
	(4) 原稿には部門及び題名を記入し, 氏名(筆名)は記入しないこと				
	(5) 小説部門は, 小説・戯曲・ラジオ等の脚本・随筆のいずれかを作品に明記すること				
	(6) 短歌の部の原稿には, 新仮名遣い・旧仮名遣いの別を明記すること				
	(7) 応募作品は, 最終作品としてとらえる(差替え等不可)				
	(8) 誤字・脱字・漢字や文法, 史実上の間違いも審査の対象となる				
	(9) 応募作品は, 総社市の出版物等は無償で利用できるものとする				
	(10) 応募作品は一切返却しない				
⑦ 応募締切	令和6年10月13日(日)当日消印まで				
⑧ 応募原稿 送 付 先	〒719-1131 総社市中央3丁目1-102 総社市総合文化センター内「総社市文学選奨」係宛て				
	連絡先: TEL(0866)92-3491 FAX(0866)92-3492 ※月曜休館日				
⑨ 発 表	令和6年1月下旬予定 (『広報そうじゃ』2月号以降の号に掲載予定)				